



大豊町ゼロカーボンシティ宣言

近年、平均気温の上昇、大雨の頻度の増加により、災害の増加、熱中症リスクの増加など、気候変動及びその影響が全国各地で現れており、気候変動問題は、人類やすべての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」ともいわれています。

我が国は、2020年にこのような気候変動に対処するため、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出削減目標を2050年においてカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

大豊町においても、豊かな自然を未来の世代に繋いでいくため、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指し、その実現に向け、二酸化炭素の吸収源である豊かな森林を適切に管理しつつ、再生可能エネルギーの活用など脱炭素への取組を推進していくことを宣言します。

令和6年3月25日

大豊町長 大友 雅夫